

2026年度 実務経験のある教員等による授業科目一覧<心理科学科>

科目	単位数	実務経験のある教員による授業科目
社会学	2	医療機関で社会福祉士・精神保健福祉士として13年、厚生労働省で相談支援専門官として2年業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして、社会学に関連する知識や視点等についての授業を行う。
経済学	2	NPOや一般企業での勤務経験、また現在、市民セクターと企業セクターの協働の実践の構築の経験が10年ある。それらの実務経験を活かして、社会福祉の学びが一般企業においてどのように生かされるのかを実践の紹介を交えて講義をおこなう。
日本史と世界	2	国公立小学校教諭（21年）、大阪府教育センター社会科担当指導主事（6年）を経験した。
保健体育（A）	2	小学校（小中一貫校も含む）で教諭，教頭，校長（29年間）として，小学校教育に関わった経験があり，学校や子どもたちの実態を踏まえた具体的授業を展開する。
体育実技（D）	1	石川：高等専門学校教員（4年半）、西里：高校・大学トレーナー（10年）
体育実技（E）	1	石川：高等専門学校教員（4年半）、西里：高校・大学トレーナー（10年）
体育実技（F）	1	石川：高等専門学校教員（4年半）、西里：高校・大学トレーナー（10年）
オーラルコミュニケーション	2	兵庫県内の公立と私立の中学校・中等教育学校・高等学校において、教諭および主幹教諭として通算40年以上業務に従事した経験がある。この授業では、その実務経験を活かして、実践的な英語力を修得するための授業を行う。
総合教養	2	（福祉栄養学科 伯井朋子）保健所や健康増進施設等で30年公衆栄養業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして「栄養と健康」についての授業を行う。 （リハビリテーション学科 重森健太）地域理学療法分野で25年。
発達心理学（心）	2	教育機関、大学附属相談センターおよび医療機関において、約25年間、発達障害および児童青年期の心理臨床を中心とした心理支援・相談業務を経験した（久保信代）
臨床心理学概論	2	担当教員は心理支援に従事した経験があり、その実務経験を活かして講義を行う。
心理学的支援法（心）	2	授業においては児童相談所児童心理司、児童福祉施設・障害者施設等における公務員心理職の実務経験(31年間)に基づく事項等を紹介して、実践的な知識・情報の提供も行う。
肢体不自由者の心理・生理・病理	2	大阪府立肢体不自由校特別支援学校において22年間、教諭として授業や進路指導に従事した。
精神保健と社会福祉	2	担当教員は大阪府心理職として31年間、児童福祉、障害福祉、高齢者福祉等に関する心理臨床や、大阪府庁福祉部での複数部署の施策担当者として制度設計や施策遂行・指導等に関する行政経験を持つ。また児童福祉施設の整備・運営や児童精神科や母子保健との協働、大規模災害現場での心理支援の経験をとおして、社会福祉と関連領域の連携についての多くの実務経験を有する。
地域福祉と包括的支援体制Ⅱ	2	ボランティアセンターにて10年、社会福祉法人本部にて2年、ソーシャルワーカーとして業務に従事した経験があり、その実務経験を生かして授業を行う。
精神障害リハビリテーション論	2	精神科病院において10年間、また障害者就労支援施設において4年間支援に携わっていた経験がある。その実務経験を生かして精神障害者のリハビリテーション技法について授業を行う。
ソーシャルワークの理論と方法（専門）Ⅰ（精神）	2	医療機関で社会福祉士・精神保健福祉士として13年、厚生労働省で相談支援専門官として2年業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして、精神保健福祉におけるソーシャルワーク実践に関連する理論と方法について授業を行う。
ソーシャルワークの理論と方法（専門）Ⅱ（精神）	2	木村志保：精神科医療機関、NPO法人、障害福祉サービス事業所等で精神保健福祉士として業務に従事した経験を活かして授業を行う。
刑事司法と福祉	2	実務経験あり…担当教員は、身体障害者療護施設において生活支援員として3年間業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして、上記の授業を行う。
障害者・障害児心理学（心）	2	児童相談所児童心理司、障害者施設心理職、障害福祉行政担当者としての実務経験(合計31年間)をもとに、障害全般にわたっての基本的知識や、心理社会的課題、必要な支援について講義します。
教育・学校心理学	2	担当教員（櫻井）は、大阪大学付属病院精神神経科、三国ヶ丘病院、大阪府池田保健所箕面支所、大阪府門真市福祉事務所、子供心身医療研究所、奈良県中央・高田児童相談所および奈良県心身障害者リハビリテーションセンターにて、臨床心理士および心理判定員として臨床心理業務の従事した経験があり、その実務経験を活かして、人間の発達過程における心理学的障害、とりわけ、集団適応が困難な自閉スペクトラム症、特異的発達症、注意欠如／多動症等の臨床的特徴、研究史及びその社会的・認知的・行動的・情緒的障害に対するアプローチについて、現状での問題点を様々な最近の研究から明らかにし、より統合的アプローチについて可能な限り具体的な事例を取り上げて論じる授業を行う。

科目	単位数	実務経験のある教員による授業科目
公認心理師の職責	2	科目担当者は、公認心理師資格を有し、過去に「司法・犯罪分野」での実践活動がある。
こどもの心理学	2	担当教員は、教育や福祉の現場において公認心理師/臨床心理士として30年以上、子どもや親子の心理支援に従事した経験があり、その実務経験を活かして子どもの発達に関する講義を行う。
インクルーシブな発達心理学	2	担当教員（櫻井）は、大阪大学付属病院精神神経科、三国ヶ丘病院、大阪府池田保健所箕面支所、大阪府門真市福祉事務所、子供心身医療研究所、奈良県中央・高田児童相談所および奈良県心身障害者リハビリテーションセンターにて、臨床心理士および心理判定員として臨床心理業務の従事した経験があり、その実務経験を活かして、人間の発達過程における心理学的障害、とりわけ、集団適応が困難な自閉スペクトラム症、特異的発達症、注意欠如／多動症等の臨床的特徴、研究史及びその社会的・認知的・行動的・情緒的障害に対するアプローチについて、現状での問題点を様々な最近の研究から明らかにし、より統合的アプローチについて可能な限り具体的な事例を取り上げて論じる授業を行う。 担当教員（荒木）は、大阪府心理職として、児童心理司、児童自立支援施設心理士・施設長、身体障害者入所施設施設長として臨床現場での心理支援を担当したほか、大阪府庁福祉部において障害福祉、高齢者福祉、児童福祉の各種施策の担当者として福祉行政に携わる（合計31年間）。
感情・人格心理学Ⅱ	2	医療機関において心理職としてアセスメント業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして講義を行う。 担当教員（櫻井）は、大阪大学付属病院精神神経科、三国ヶ丘病院、大阪府池田保健所箕面支所、大阪府門真市福祉事務所、子供心身医療研究所、奈良県中央・高田児童相談所および奈良県心身障害者リハビリテーションセンターにて、臨床心理士および心理判定員として臨床心理業務の従事した経験があり、その実務経験を活かして、人間の発達過程における心理学的障害、とりわけ、集団適応が困難な自閉スペクトラム症、特異的発達症、注意欠如／多動症等の臨床的アセスメントについて、可能な限り具体的な事例を取り上げて論じる授業を行う。
心理テストⅠ	1	教育機関および医療機関において、約25年間、心理臨床および教育相談に関する実務経験を有する（久保信代）
心理テストⅡ	1	担当教員（櫻井）は、大阪大学付属病院精神神経科、三国ヶ丘病院、大阪府池田保健所箕面支所、大阪府門真市福祉事務所、子供心身医療研究所、奈良県中央・高田児童相談所および奈良県心身障害者リハビリテーションセンターにて、臨床心理士および心理判定員として臨床心理業務の従事した経験があり、その実務経験を活かして、人間の発達過程における心理学的障害、とりわけ、集団適応が困難な自閉スペクトラム症、特異的発達症、注意欠如／多動症等の臨床的アセスメントについて、可能な限り具体的な事例を取り上げて論じる授業を行う。 教育機関、大学附属相談センターおよび医療機関において、約25年間、発達障害および児童青年期の心理臨床を中心とした心理支援・相談業務を経験した（久保信代）
健康・医療心理学Ⅱ	2	担当教員（櫻井）は、大阪大学付属病院精神神経科、三国ヶ丘病院、子供心身医療研究所、奈良県中央・高田児童相談所および奈良県心身障害者リハビリテーションセンターにて、臨床心理士および心理判定員として臨床心理業務の従事した経験があり、その実務経験を活かして、各心理臨床領域におけるイメージを用いた心理療法について紹介し、心理臨床の中でのイメージの役割について可能な限り具体的な事例を取り上げて論じる授業を行う。
正常と異常の心理学	2	担当教員は心理支援に従事した経験があり、その実務経験を活かして講義を行う。
健康教育学原論（心）	2	看護師として臨床（病院における実際の勤務）経験があり、患者の健康指導、教育に携わっていました。また看護教育者として大学で24年間、慢性疾患を持つ患者への健康教育の原理や方法を教授していました。現在は、健康経営優良法人取得を目指す企業において、従業員および管理者向けに、産業保健の視点を用いた健康教育、生活習慣改善プログラムの企画・運営、メンタルヘルス対策の研修講師を実務として行っています。それらを繁栄させた授業を構築いたします。
司法・犯罪心理学	2	担当教員は、14年間に渡り裁判所での勤務歴があると同時に家庭裁判所調査官の資格を有する者であり、現場に即した講義の展開を目指す。
心理学研究法Ⅲ	2	米国の教育機関におけるリサーチ部門にて業務に従事した経験があり、その実務経験（6年）を活かして、文献の読み方や内容理解の方法について講義を行う。
精神保健福祉の原理Ⅱ	2	医療機関及び障害福祉サービス事業所にて精神保健福祉士として14年実務に従事した経験を活かし、精神障害者の生活実態及び、精神保健福祉士の資格化の経緯、精神保健福祉の原理についての授業を行う。
精神保健福祉制度論	2	精神科医療機関及び障害福祉サービス事業所にて相談援助業務に従事した経験が14年があり、その実務経験を活かして各テーマにおける精神保健福祉士の役割や、実践の中で感じるジレンマについての授業を行う。
研究演習Ⅰ（心G）	2	担当教員（櫻井）は、子供心身医療研究所、奈良県中央・高田児童相談所および奈良県心身障害者リハビリテーションセンターにて、臨床心理士および心理判定員として臨床心理業務の従事した経験があり、その実務経験を活かして、「発達診断と発達臨床心理学的支援」をテーマとして、特に自閉性スペクトラムおよびその周辺の発達障害への治療・教育的介入と環境との関連性について学ぶとともに、臨床実践に繋がる卒業論文の作成指導を行う授業を行う。
研究演習Ⅰ（心I）	2	担当教員は心理支援に従事した経験がありその実務経験を活かして講義を行う。

科目	単位数	実務経験のある教員による授業科目
研究演習Ⅱ（心A）	2	科目担当者は、家庭裁判所調査官の資格を有していることから、少年非行や家族の揉め事の実践に対応してきた。
研究演習Ⅱ（心G）	2	担当教員（櫻井）は、子供心身医療研究所、奈良県中央・高田児童相談所および奈良県心身障害者リハビリテーションセンターにて、臨床心理士および心理判定員として臨床心理業務の従事した経験があり、その実務経験を活かして、「発達診断と発達臨床心理学的支援」をテーマとして、特に自閉性スペクトラムおよびその周辺の発達障害への治療・教育的介入と環境との関連性について学ぶとともに、臨床実践に繋がる卒業論文の作成指導を行う授業を行う。
研究演習Ⅱ（心I）	2	担当教員は心理支援に従事した経験がありその実務経験を活かして講義を行う。
研究演習Ⅲ（心A）	2	科目担当者は、家庭裁判所調査官資格を有しており、非行少年や家族の抱える諸問題に造詣が深い。
研究演習Ⅲ（心G）	2	担当教員（櫻井）は、子供心身医療研究所、奈良県中央・高田児童相談所および奈良県心身障害者リハビリテーションセンターにて、臨床心理士および心理判定員として臨床心理業務の従事した経験があり、その実務経験を活かして、「発達診断と発達臨床心理学的支援」をテーマとして、特に自閉性スペクトラムおよびその周辺の発達障害への治療・教育的介入と環境との関連性について学ぶとともに、臨床実践に繋がる卒業論文の作成指導を行う授業を行う。
研究演習Ⅲ（心I）	2	担当教員は心理職として心理支援に従事した経験がありその実務経験を活かして講義を行う。
研究演習Ⅳ（心A）	2	科目担当者は、家庭裁判所調査官の資格を有し、少年非行や家事事件への造詣が深い。
研究演習Ⅳ（心G）	2	担当教員（櫻井）は、子供心身医療研究所、奈良県中央・高田児童相談所および奈良県心身障害者リハビリテーションセンターにて、臨床心理士および心理判定員として臨床心理業務の従事した経験があり、その実務経験を活かして、「発達診断と発達臨床心理学的支援」をテーマとして、特に自閉性スペクトラムおよびその周辺の発達障害への治療・教育的介入と環境との関連性について学ぶとともに、臨床実践に繋がる卒業論文の作成指導を行う授業を行う。
研究演習Ⅳ（心I）	2	担当教員は心理職として心理支援に従事した経験がありその実務経験を活かして講義を行う。
社会保障Ⅰ	2	医療機関において社会福祉士・精神保健福祉士として13年、厚生労働省において相談支援専門官として2年業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして授業を行う。
地域福祉と包括的支援体制Ⅰ	2	ボランティアセンターにて10年、社会福祉法人本部にて2年、ソーシャルワーカーとして業務に従事した経験があり、その実務経験を生かして授業を行う。
現代の精神保健の課題と支援Ⅰ	2	精神科病院、精神科デイケア、就労支援事業所でソーシャルワーカー（精神保健福祉士）として入退院支援、外来相談、地域生活支援、就労支援・定着支援を20年余り経験。
多様化する家族の心理学	2	講義担当者は、1年半の児童相談所での勤務、更には14年間の家庭裁判所等の司法機関での勤務歴があり、実践に即した授業を展開する。
おとなの心理学	2	保健医療領域において臨床心理士・公認心理師として40年近く心理臨床活動に従事してきた。その実務経験を活かして実地的な心理臨床の現状も紹介しながら授業を行う。
ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ	2	自治体における福祉施設の整備に関する審査や福祉サービス事業者の選定に関する委員会等の業務に従事した経験（10年以上）も活かして、福祉の現場で求められるソーシャルワーカーの価値や倫理、専門的な視点や方法についての授業を行います。
ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ	2	青少年の公益財団法人で専門職員として幼児から青少年、障害児の野外活動などのグループワーク実践に14年間従事し、現在もスーパーバイザーとして様々な事業に携わっている実務経験から集団の特性や集団力学を活用した個々の能力の引き出し方や対人援助について考える授業を行う。
権利擁護を支える法制度（福）	2	実務経験あり：財団法人のボランティアコーディネーターとして、さらに特別養護老人ホームにおいてSW（在宅部門ディレクター）として業務に従事した経験が計14年あり、その実務経験を活かして権利擁護やそれにまつわる法制度についての授業を行う。
体験的に学ぶ心理学的支援法	2	担当教員は、医療・教育・福祉領域におけるカウンセリングの実務経験を持つ。
行動分析学と認知行動療法	2	児童・放課後デイサービスや訪問サービス事業において公認心理師として応用行動分析を用いた療育に従事しており、その実務経験を活かして行動原理の基礎から臨床について授業を行う。

科目	単位数	実務経験のある教員による授業科目
心理的アセスメントⅠ（心） （2021年度以前入学生用）	1	教育機関および医療機関において、約25年間、心理臨床および教育相談に関する実務経験を有する（久保信代） 司法機関である家庭裁判所において、心理職としてアセスメント業務に従事した経験があり、その実務経験を活かした講義を行う（相谷登）。 担当教員（櫻井）は、大阪大学付属病院精神神経科、三国ヶ丘病院、大阪府池田保健所箕面支所、大阪府門真市福祉事務所、子供心身医療研究所、奈良県中央・高田児童相談所および奈良県心身障害者リハビリテーションセンターにて、臨床心理士および心理判定員として臨床心理業務の従事した経験があり、その実務経験を活かして、人間の発達過程における心理学的障害、とりわけ、集団適応が困難な自閉スペクトラム症、特異的発達症、注意欠如／多動症等の臨床的アセスメントについて、可能な限り具体的な事例を取り上げて論じる授業を行う。
心理的アセスメントⅠ（心） （2022年度以降入学生用）	2	医療機関において心理職としてアセスメント業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして講義を行う（久保信代）。 司法機関である家庭裁判所において、心理職としてアセスメント業務に従事した経験があり、その実務経験を活かした講義を行う（相谷登）。 担当教員（櫻井）は、大阪大学付属病院精神神経科、三国ヶ丘病院、大阪府池田保健所箕面支所、大阪府門真市福祉事務所、子供心身医療研究所、奈良県中央・高田児童相談所および奈良県心身障害者リハビリテーションセンターにて、臨床心理士および心理判定員として臨床心理業務の従事した経験があり、その実務経験を活かして、人間の発達過程における心理学的障害、とりわけ、集団適応が困難な自閉スペクトラム症、特異的発達症、注意欠如／多動症等の臨床的アセスメントについて、可
心理演習（心）	1	担当教員らは、医療、教育、福祉、産業領域の実務経験を持つ。 教育機関および医療機関において、約25年間、心理臨床および教育相談に関する実務経験を有する（久保信代）
症例から学ぶ心の病とその支援	2	各担当教員は医療、教育、福祉領域において、公認心理師、臨床心理士あるいは精神保健福祉士として、心の支援に従事した経験が15年以上あり、その実務経験を活かして心の病とその支援について症例をまじえて講義を行う。
心理学と職業	1	講義担当者である教員は、両名ともに大学以外での社会経験があり、就職活動に関する知識には長けている。
多文化と共生	1	担当者（永井）は医療施設・福祉施設等において作業療法士および部門管理者として30年以上業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして本講義を行う。 担当者（内海）は学校現場において栄養教諭として業務に13年間従事した経験があり、その実務経験を活かして本講義を行う。
心理実習（心）	2	教育機関、大学附属相談センターおよび医療機関において、約25年間、発達障害および児童青年期の心理臨床を中心とした心理支援・相談業務を経験した（久保信代）

計 115